

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮プランクトンの調査について

本日、赤潮プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。検鏡の結果、有害なプランクトンは確認されませんでした。

調査時間 (9:27~10:41) 採集地点	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム ポリクリコイデス *1	カレニア ミキモイ *1	ミリオネクター ルブラ
宿毛湾中央 下図① 透明度 14m	0	21.58	31.12	7.15	0	0	2
	5	23.64	34.31	6.44	0	0	0
	10	23.65	34.34	6.48	0	0	0
ヒロウラ 下図② 透明度 5m	0	21.46	31.99	7.08	0	0	-
	5	23.26	34.12	6.54	0	0	-
	10	23.33	34.19	6.57	0	0	-
一切田 下図③ 透明度 6.5m	0	22.73	33.67	6.71	0	0	-
	5	23.05	34.14	6.63	0	0	-
	10	22.95	34.13	6.63	0	0	-
真珠 下図④ 透明度 7m	0	22.59	33.47	7.04	0	0	2
	5	23.27	34.14	6.87	0	0	0
	10	23.17	34.13	6.73	0	0	0

\*1：魚類に対して被害のある種

ヒロウラ及び一切田の海水 1ℓを 1000 倍に濃縮して検鏡しました。結果は、次の通りです。

魚類に対して被害のあるコクロディニウム ポリクリコイデス及びカレニア ミキモトイがそれぞれ最大で 0.001 及び 0.003 細胞/mL と非常に低密度ながら確認されました。

調査時間 (9:20~11:00) 採集地点	水深	コクロディニウム ポリクリコイデス*1	カレニア ミキモトイ*1
	(m)		
ヒロウラ 下図② 透明度 5m	0	0.001	0.001
	5	0.000	0.000
	10	0.000	0.000
一切田 下図③ 透明度 6.5m	0	0.000	0.002
	5	0.000	0.001
	10	0.000	0.003

\*1：魚類に対して被害のある種

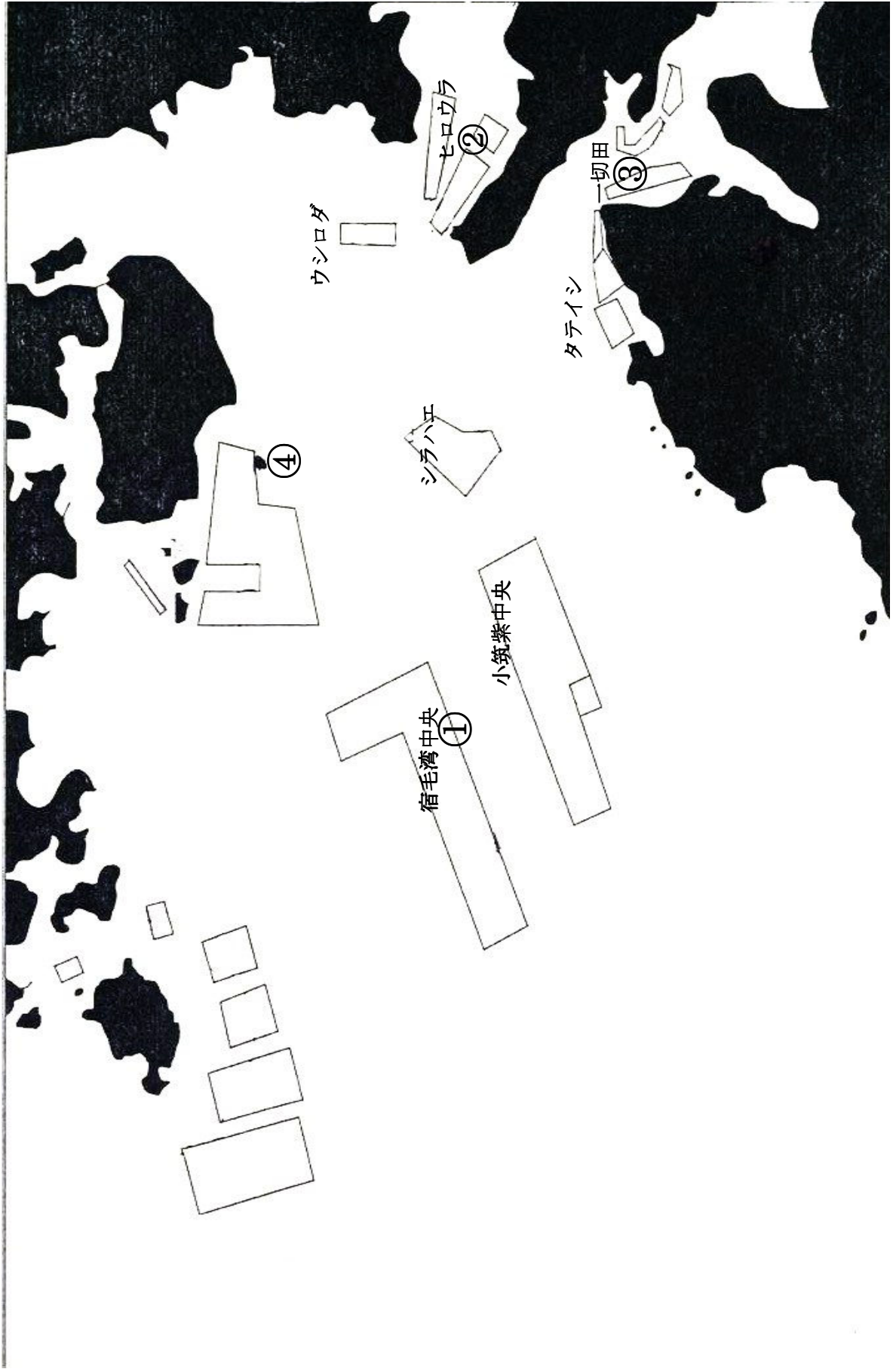
貝毒プランクトンの調査について

本日、貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。検鏡の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータム及びアレキサンドリウム属が最大で0.011及び0.012細胞/ml、下痢性貝毒の原因種であるディノフィシス属が最大で0.002細胞/mlが確認されました。

調査時間 9：27～10:41

\*1：麻痺性貝毒の原因種 \*2：下痢性貝毒の原因種

採集地点	水深	水温	塩分	溶存酸素	ギムノディニウム カテナータム*1	アレキサンドリ ウム属*1	ディノフィシス 属*2
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)			
宿毛湾中央 下図① 透明度 14m	0	21.58	31.12	7.15	0	0	0
	5	23.64	34.31	6.44	0	0	0
	10	23.65	34.34	6.48	0	0	0
ヒロウラ 下図② 透明度 5m	0	21.46	31.99	7.08	0.000	0.012	0.002
	5	23.26	34.12	6.54	0.000	0.003	0.000
	10	23.33	34.19	6.57	0.000	0.000	0.000
一切田 下図③ 透明度 6.5m	0	22.73	33.67	6.71	0.000	0.003	0.001
	5	23.05	34.14	6.63	0.011	0.000	0.001
	10	22.95	34.13	6.63	0.000	0.000	0.000
真珠漁場 下図④ 透明度 7m	0	22.59	33.47	7.04	0	0	0
	5	23.27	34.14	6.87	0	0	0
	10	23.17	34.13	6.73	0	0	0



宿毛湾中央 ①

小筑紫中央

シラハエ

ウシロダ

タテイシ

ヒロウラ ②

切田 ③

④